

虹のかけはし



〒528-0074

滋賀県甲賀市水口町松尾 1256 番地

TEL:0748-62-0234(代) FAX:0748-63-0588 <http://www.kohka-hp.or.jp/>

病院長 清水和也



新たな元号で初めてのお正月となりました。

皆様明けましておめでとうございます。昨年は地方独立行政法人化や創立 80 周年記念式典を行うなど忙しい年となりました。本年は腰を落ち着けて、現在当院が課題としている断らない救急・市民との交流・看護師確保という三本柱の達成に向け邁進して行きたいと考えております。

さて、地域医療連携をテーマとした今年度の原稿を依頼され、当院の歩みを振り返ってみたところであります。旧病院時代の平成 22 年から、地域連携に対し本格的に取り組み始めましたが、今やこの病院でも地域連携は当たり前のことになっているだけではなく、病院経営の根幹を占めるような重要な存在になったとさえ思えるようになりました。電子カルテにおいても、病診連携を円滑に進めるようなシステムが充実して来ており、返書管理も随分やり易くなっています。しかしながら、折角のご紹介をお断りするケースが時に発生しています。空床が無いとか、医師の手がどうしても空かないといったことが主な理由として挙げられていますが、そこを何とか工夫して全てを受け入れることを病院の方針としておりますので、100%受け入れを目指して今後も努力して行きたいと考えております。

ところで、最近開催された開放型病床管理委員会で議事進行をしながら感じたことを少し述べさせていただきます。当院のような地域医療支援病院では開放型病床の利用率が一定基準に達しないと指定が取り消されることになるため、その利用率には常に注意を払っております。開放型病床本来の目的は開業された先生方が病院の病床を利用して主体的に治療に当たり、病院がこれを支援するというものであったと思うのです。お忙しい開業医の先生方にとっては無理な話ではないかと思うのです。従って患者さんの入院中に共同指導を行っていただき、患者さんへの面会と治療状況につき主治医から説明を行うことで開放型病床利用が完結することになっています。何時までも開放型病床利用率にこだわる制度の考え方には些か疑問を感じざるを得ません。病院としては開業医の先生方にこの制度を大いに利用していただきたいと考えておりますが、利用率という縛りは必要ないのではと思うのです。この制度における実態をみつめなおし、今後機会があればこのことを話題として議論を拡げて行きたいと考えております。現在の甲賀・湖南医師会と当院との信頼関係は良好であることと思っておりますので、今後もこの関係を大事にしたいと考えております。本年もどうぞよろしくお願いいたします。



健康講座開催しました

第 69 回健康講座

『パーキンソン病について』

12月21日に開催。

当院脳神経内科大井医師より講演をさせていただきました。

125名のご参加をいただきました。

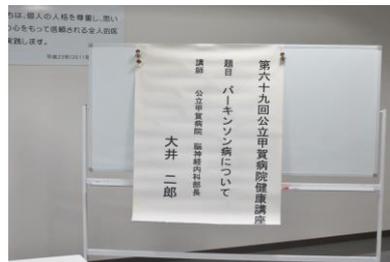
多数のご参加ありがとうございました。

次回、健康講座のご案内

来年度の健康講座につきましては現在調整中です。

決定次第お知らせさせていただきます。

次回もご参加お待ちしております。



編集後記

新年あけましておめでとうございます。早いもので令和も2年となりました。昨年はみなさんにとってどのような年でしたでしょうか。寒い日が続き、我が家では夫と2人で過ごす初めてのお正月…ですが、コタツから出られずに2人揃って運動不足の毎日を過ごしています。体調管理のためにもそろそろランニングを再開したいと考えています。今年の楽しみの一つに東京オリンピックの開催があります。中には観戦に行かれる方もいらっしゃるのではないのでしょうか。私が特に注目している競技はラグビーです。昨年はベスト8とすることで日本中の注目の的となりました。にわかファンではありますが、選手のみなさんの頑張りを楽しみながら観戦したいと思います。2020年もみなさんにとって良い年になりますように。

今年も虹のかけはしをよろしくお願いします。(A)

